

災害ケースマネジメント研修 in 高知 実施要項

1. 研修テーマ:災害を知り、支援を学び、備える

東日本大震災以降、災害支援の新たな考え方として、一人ひとりの被災者の状況に応じた支援を実施する「災害ケースマネジメント」という考え方が主流になりつつある。大規模な地震災害、豪雨災害などに見舞われた際、自宅建物の再建には罹災証明書为前提とした様々な支援策が講じられているが、それだけでは自立再建ができない世帯も少なくない。故に建物の被害のみならず、一人ひとりの現状に応じた支援サービスを展開すべきという意見が多くなり、災害ケースマネジメントという言葉が広がっている。南海トラフ地震が30年以内に発生する確率が非常に高いと予測されている和歌山県において、「災害ケースマネジメント」という考え方を発災前に学ぶ意義は極めて大きい。

令和3年12月20日に岸田内閣総理大臣が「災害ケースマネジメントを先駆的に取り組んだ自治体の知見を広く伝えていく」という趣旨の発言をしたことをきっかけに、内閣府防災担当では「災害ケースマネジメントの事例集」を作成。そして令和5年3月には「災害ケースマネジメント実施の手引き」も完成させ、本年度より全国の自治体向けの「災害ケースマネジメント」研修が実施されている。

今回は災害ケースマネジメントの基礎から、自治体の責務、実践に見る災害時の課題等について学び、ともに考える機会とする。

2. 内容・講師等

講義1「災害ケースマネジメントとは」

講師:大阪公立大学大学院 文学研究科 准教授 菅野拓氏

講義2「災害ケースマネジメントの考え方で被災者支援をすすめる行政のメリット」

講師:元長野県職員、長野県 NPO センター事務局次長 古越武彦氏

講義3「岩手県岩泉町における実践に見る災害時の課題について」

講師:認定NPO法人フードバンク岩手 阿部知幸氏

3. 主催・協力

主催: NPO 法人ワンファミリー仙台、NPO 法人 YNF

協力: 一人ひとりが大事にされる災害復興法をつくる会

4. 本研修の対象者

自治体職員、社会福祉協議会職員、NPO等の民間団体、災害ケースマネジメントに関心のある方々

5. 開催日時・参加費

令和6年1月16日(火) 9時30分~12時00分 ハイブリッド開催 参加費無料

6. 開催会場・定員

高知共済会館大ホール桜(高知県高知市本町5丁目3-20) 定員:約100名

7. 参加申込み期日

令和6年1月12日(金) 申し込み方法・問い合わせ先は「10. 申し込み用紙」をご覧ください。(定員に達した時、お断りする場合がございます。)

8. 個人情報取り扱い

- ・参加申込書に関する個人情報は適切に取り扱い、ご本人の同意なく第三者へ提供または開示いたしません。
- ・当法人に関するセミナーや催し等に関する情報提供等に活用させていただく場合がございます。

9. 研修プログラム

時間(予定)	プログラム
9:30	事務連絡(事務局) 開会あいさつ(NPO 法人ワンファミリー仙台)
9:40 10:25 (45分)	講義 1「災害ケースマネジメントとは」 講師:大阪公立大学大学院 文学研究科 准教授 菅野拓氏 講師プロフィール: 大阪公立大学大学院 文学研究科 准教授。臨床の社会学者。大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。博士(文学)。専門は人文地理学、都市地理学、サードセクター論、防災・復興政策。東日本大震災発災直後からパーソナルサポートセンターにて仙台市と協働し、被災者生活再建支援事業・生活困窮者自立支援事業を立ち上げ、現在は理事。近著に『つながりが生み出すイノベーション—サードセクターと創発する地域—』、『災害対応ガバナンス—被災者支援の混乱を止める—』(いずれも単著、ナカニシヤ出版)。最近の主な委員として内閣府「被災者支援のあり方検討会」委員、厚生労働省・内閣府「医療・保健・福祉と防災の連携に関する作業グループ」参考人、熊本市「復興検討委員会」委員など。
10:30 11:15 (45分)	講義 2「災害ケースマネジメントの考え方で被災者支援をすすめる行政のメリット」 講師: 元長野県庁、長野県 NPO センター事務局次長 古越武彦氏 講師プロフィール: 長野県危機管理部で長年にわたって防災業務に従事し、2011年以降に長野県で発生したすべての災害対応に関わる。2022年3月に早期退職し、認定 NPO 法人全国 災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)に勤め、現在は長野県 NPO センター事務局次長として災害時支援の活動に取り組んでいる。
11:20 11:50 (30分)	講義 3「岩手県岩泉町における実践に見る災害時の課題について」 講師: 認定NPO法人フードバンク岩手 阿部知幸氏 講師プロフィール: 認定NPO法人フードバンク岩手副理事長・事務局長、一般社団法人岩泉町よりそい・みらいネット理事、一般社団法人さいわい理事。東日本大震災以降、被災者支援の一つとして食料支援を開始すると同時に岩手県内に食のセーフティネットを広げるため、フードバンク岩手を設立。2016年台風10号災害では、被災者の様々な相談をワンストップでできる岩泉よりそい・みらいネットを設立し、継続的な被災者支援を行っている。
11:50	閉会あいさつ(一人ひとりが大事にされる災害復興法をつくる会)

10. 申し込み用紙

申し込み方法は下記の4通りあります。いずれかの方法でお申込みください。

■下記の Google フォームに必要事項を入力して送信する。
<https://forms.gle/TrdxrG74ZmmzGHXw7>



スマートフォンの方はこちら →

■下記の必要事項をメール本文に書き、メール件名を「1/16 災害ケースマネジメント研修 in 高知参加申し込み」として事務局 kenshu@onefamily-sendai.jp へ送る。

■申込用紙に必要事項を記入したのち、PDF にしてメールに添付し、「1/16 災害ケースマネジメント研修 in 高知参加申し込み」として 事務局 kenshu@onefamily-sendai.jp へ送る。

■申込用紙に必要事項を記入したのち、FAX で事務局 **022-398-9856** へ送る。

災害ケースマネジメント研修 事務局(担当:高崎・茅野) NPO 法人ワンファミリー仙台 総務課内
問合せ電話:022-398-9854(音声案内に沿って3番)

1/16(火)災害ケースマネジメント研修 in 高知 参加申し込み (1人1枚ご記入ください)	
参加者氏名	
メールアドレス	
参加方法	<input type="checkbox"/> 会場参加 <input type="checkbox"/> オンライン参加
当日連絡が取れる電話番号	
所属組織(行政・社協 NPO 等)名	
従事状況 ※いずれかにチェック	現在、災害に関わる活動に <input type="checkbox"/> 従事している <input type="checkbox"/> 従事していない <input type="checkbox"/> 今後関わる予定 <input type="checkbox"/> その他()
ご質問等	本研修に際して、ご質問等があればお書きください。



一人ひとりが大事にされる災害復興法をつくる会